

3 東京電機大学が養成する教師像について

東京電機大学は、建学の精神である「実学尊重」と、教育・研究理念である「技術は人なり」を掲げ、技術を通して社会に貢献できる人材の育成を使命としています。この精神のもとに東京電機大学では、以下の力量を備えた教師を養成します。

教師として必要な資質である、①学校教育に対する多角的理解力、②教育に対する使命感や責任感、教育的愛情、③社会性や対人関係形成能力、④生徒理解や学級経営力、⑤教科内容等の高度な指導力 を備えた教師を養成します。

また、東京電機大学卒業の教師として、科学技術の実学的価値や面白さを教えることのできる教師、科学技術を支える高い倫理観を持った「学び続ける教師」を養成します。

4 取得できる教育職員免許状の種類及び教科

(工学部)

免許状の種類	教科	取得できる該当学科
高等学校教諭 1 種免許状	数学	全学科
	情報	全学科 (環境化学科を除く)
	工業	全学科 (環境化学科を除く)
	理科	環境化学科
中学校教諭 1 種免許状	数学	全学科
	理科	環境化学科

(未来科学部)

免許状の種類	教科	取得できる該当学科
高等学校教諭 1 種免許状	数学	全学科
	情報	全学科 (建築学科を除く)
	工業	全学科
中学校教諭 1 種免許状	数学	全学科

(工学部第二部)

免許状の種類	教科	取得できる該当学科
高等学校教諭 1 種免許状	情報	全学科
	工業	全学科

※工学部第二部では数学の教科の課程認定は受けていませんが、在学中に昼間学部で数学の免許取得に必要な単位を修得すれば、卒業後の個人申請により高等学校 1 種免許状「数学」を取得することができます。(ただし、高等学校 1 種免許状「工業」または「情報」を取得していることが条件です。) 詳しくは、教職課程ガイダンスで確認してください。

6 免許状取得資格・必要単位数

教育職員免許状を取得しようとする人は、免許状の種類に応じ、次の表に掲げる所定の単位を修得しなければなりません。

〔2008（平成20）年度以降の入学生用〕

	免許状の種類	基礎資格	要修得単位数			
			共通教育科目		教職に関する科目	教科に関する科目
工学部 工学部第二部 未来科学部	高等学校教諭 1種免許状	学士	日本国憲法 体育* 外国語 情報	2 2 2 2	27	32
工学部 未来科学部	中学校教諭 1種免許状	学士	日本国憲法 体育* 外国語 情報	2 2 2 2	35	24

★人間科学科目の倫理学入門または哲学を修得することが望ましい。

※「体育」とは、座学ではない実技科目を指す。

（工・未） トリムスポーツ、スポーツ科学演習、アウトドアスポーツ

（二 部） 体育基礎Ⅰ、体育基礎Ⅱ、アウトドアスポーツ

1年次前期には教職課程の科目は配当されていませんが、教育職員免許状取得に必須の体育科目は1年次前期より履修できます。ぜひ早めに履修しておくことをお勧めします。

編入学の場合、専門教育科目で「R」で表示された科目は、教育職員免許状を取得しようとするとき、教科に関する科目の単位には20単位までしか算入されません（ただし、課程認定を受けていない大学、短大から編入した学生に限る）。

R認定を希望せず再履修を行うものは、その旨を4月末日までに工学部・未来科学部事務部へ申し出てください。

7 教職に関する科目

1 年次生後期から履修することができます。次表の授業科目のうち、免許状に応じて必要単位数を修得しなければなりません。教職に関する科目はすべて自由科目であり、進級・卒業所要単位数には算入されません。

[2011 (平成 23) 年度以降の入学生用]

※工学部の例

免許法上の区分			必要単位数	授業科目名	必選自	単位数	備考
第一欄	教育の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	教職入門	自	2	中学・高校免許 必須科目
		教員の職務内容 (研修、サービス及び身分保障等を含む。)					
		進路選択に資する各種の機会の提供等					
第二欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育学概論	自	2	中学・高校免許 必須科目
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程を含む。)		教育心理学	自	2	中学・高校免許 必須科目
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育社会学	自	2	中学・高校免許 必須科目
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	中学 12 高校 6	教育課程論	自	2	中学・高校免許 必須科目
		特別活動の指導法		特別活動論	自	1	中学・高校免許 必須科目
		教育方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	自	2	中学・高校免許 必須科目
		各教科の指導法		数学科教育法 工業科教育法 情報科教育法 理科教育法	自	4	中学・高校免許 必須科目に 応じて履修
				数学科指導法 理科指導法	自	4	中学校免許 必須科目
				道徳の指導法	道徳教育論	自	2
		進路指導、生徒指導等に関する科目		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	4	教育相談	自
生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論		自	2		中学・高校免許 必須科目	
進路指導の理論及び方法							
第五欄	教育実習		中学 5 高校 3	教育実習セミナー	自	2	中学・高校免許 必須科目
				教育実習Ⅰ	自	2	中学・高校免許 必須科目
				教育実習Ⅱ	自	2	中学校免許 必須科目
第六欄	実践教職 演習		2	教職実践演習 (中・高)	自	2	中学・高校免許 必須科目

8 教科に関する科目

教科に関する科目は、自学科で開講されている科目を取得することが原則です。しかし、自学科で開講されていない他学科の科目を履修し、単位を満たすことも一部できます。その場合、以下の条件（法的な制約）を考慮する必要があります。

- i 網掛け科目（各教科の教育分野（枠組み）での指定必修科目）は、必ず自学科の科目を履修しなければなりません。
- ii 各教科の教育分野（枠組み）の半数以下の領域での科目のみが、教科に関する科目として申請可能です。

基本的に、教科に関する科目は、自学科に配当されている科目を履修してください。

〔数学〕

未来科学部 平成 28 年度（2016 年度）入学生用

全学科

種類・ 免状の 教 科	免許法施行規則に 定める科目群 〔教職コード〕	単 位 数 最 低 修 得	該 当 科 目 ※（ ）内は単位数	
中 学 校 お よ び 高 等 学 校 1 種 ・ 数 学	代数学 〔110 代数〕	1	全学科	代数学入門 (2)、線形代数学Ⅱ (2)、代数学 (2)
			F A	線形代数学Ⅲ (2)
			F I	メディア処理の基礎数学（線形代数学Ⅱ）(2)
			F R	線形代数学Ⅲ (2)
	幾何学 〔111 幾何〕	1	全学科	幾何学 (2)、微分幾何学 (2)
	解析学 〔112 解析〕	1	全学科	微分積分学および演習Ⅱ (4)、解析学 (2)、 複素解析学Ⅰ (2)、複素解析学Ⅱ (2)、微分方程式Ⅱ (2)
			F A	微分方程式Ⅰ (2)、フーリエ解析 (2)
			F I	微分方程式Ⅰ (2)
			F R	ベクトル解析 (2)、フーリエ解析 (2)、最適化法 (2)、 基礎制御工学および演習 (4)、 メカトロニクスのための数学および演習 (2)
	「確率論、統計学」 〔113 確統〕	1	F A	確率・統計Ⅰ (2)、確率・統計Ⅱ (2)
			F I	基礎情報数学B（確率論と情報理論）(2)、 数理統計学 (2)
			F R	確率・統計Ⅰ (2)、確率・統計Ⅱ (2)
コンピュータ 〔114 コンピュ〕	1	F A	建築プログラミング (2)、数式処理 (2)	
		F I	基礎情報数学A（離散数学）(1)、数式処理 (2)、 プログラミング入門 (2)、情報科学の基礎 (2)	
		F R	数式処理 (2)、集合と論理 (2)、離散数学 (2)	

網掛けになっている科目を必ず履修し、中学校は合計 24 単位以上、高等学校は合計 32 単位以上取得すること

※網掛け科目は包括的内容を含む科目

〔情報〕

未来科学部 平成 28 年度 (2016 年度) 入学生用

情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科

種類・ 免状の 教料	免許法施行規則に 定める科目群 〔教職コード〕	単 位 数	最 低 修 得	該 当 科 目 ※ () 内は単位数
高 等 学 校 1 種 ・ 情 報	情報社会及び 情報倫理 〔130 情①〕	1	全学科	情報化社会と知的財産権 (2)、 情報化社会とコミュニケーション (2)、 情報倫理 (2)
	コンピュータ及び 情報処理 (実習を含む) 〔131 情②〕	1	F I	オペレーティングシステム (1)、メディアプログラ ミング演習 (2)、形式言語とオートマトン (2)、コンパ イラ (2)、論理回路とコンピュータ構成の基礎 (2)、 コンピュータアーキテクチャと機械語演習 (2)、デジ タルシステム設計および演習 (2)
			F R	プログラム基礎 I (2)、プログラム基礎 II (2)、 アルゴリズムとデータ構造 (2)、数値解析 (2)、 デジタル回路 (2)、
	情報システム (実習を含む) 〔132 情③〕	1	F I	Web 情報システム演習 (2)、情報アクセスと知的処理 (1)、ソフトウェア設計 (2)、ソフトウェア分析・モデ リング (2)、情報システム論 (2)、データベース (2)、 データベースプログラミング演習 (2)、データ構造と アルゴリズム演習 (2)
			F R	オペレーティングシステム (2)、 プログラム基礎 III (2)、事象駆動システム (2)
	情報通信 ネットワーク (実習を含む) 〔133 情④〕	1	F I	情報ネットワーク (2)、ネットワークプログラミング (2)、サーバ設計論 (1)、ネットワークプログラミング 演習 (1)、サーバプログラミング演習 (2)、情報セキュ リティの基礎と暗号技術 (2)、ネットワークセキュ リティおよび演習 (2)
			F R	コンピュータネットワーク (2)、メカトロニクス総合 実験 A (2)、ロボットインターフェース (2)、情報理 論 (2)、ロボットセンシング (2)
	マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む) 〔134 情⑤〕	1	F I	映像表現演習 (2)、コンピュータ音楽 (2)、音声・音 響情報処理 (2)、コンピュータ音楽作品制作演習 (2)、 感性・情報イメージング (2)、バーチャルリアリティ (1)、インタラクションデザイン (1)、CG モデリング および演習 (3)、CG レンダリングおよび演習 (3)、コ ンピュータアニメーションおよび演習 (2)
			F R	メカトロニクス基礎実験 I (2)、信号処理 (2)、ディ ジタル制御 (2)、コンピュータシミュレーション (2)、 パワーエレクトロニクス (2)
	情報と職業 〔135 情⑥〕	1	全学科	情報と職業 (2)
網掛けになっている科目を必ず履修し、合計 32 単位以上取得すること ※網掛け科目は包括的内容を含む科目				

〔工業〕

未来科学部 平成 28 年度（2016 年度）入学生用

全学科

免状の種類・教科	免許法施行規則に定める科目群〔教職コード〕	最低修得単位数	該当科目 ※（ ）内は単位数
高等学校↑ 工業種	工業の関係科目〔160 工業〕	1	※科目配当表の教職コード欄を参照すること
	職業指導〔160 工業〕	1	職業指導(4)
網掛けになっている科目を必ず履修し、合計 32 単位以上取得すること ※網掛け科目は包括的内容を含む科目			

新入生へ

学生生活

学修案内

共通

FA

FI

FR

履修案内

UNI
PA

資格・免許

教職課程

事務取扱い

学籍・学費

生活案内

各種施設

就職・進学

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

警・研究組織

キャンパス内

2011-2016 (平成23-28) 年度入学生用
 未来科学部 全学科教職課程 授業科目配当表

未) (2011-2016) -1

区分	免許法上の区分	科目名	必選自	単位	配当年	配当期	コマ	担当者	授業形態	備考	教職
教職に関する科目	第二欄	教職入門	自	2	1	半期(後)	1	広石 英記	講義	中学・高校免許必修科目	320
	第三欄	教育学概論	自	2	2	半期(前)	1	広石 英記	講義	中学・高校免許必修科目	330
		教育心理学	自	2	1	半期(後)	1	金築 智美	講義	中学・高校免許必修科目	331
		教育社会学	自	2	2	半期(後)	1	大江 正比古	講義	中学・高校免許必修科目	332
		教育課程論	自	2	3	半期(前)	1	広石 英記	講義	中学・高校免許必修科目	341
	第四欄上	特別活動論	自	1	3	半期(前)	1	福田 八重	講義	中学・高校免許必修科目・集中講義	343
		教育の方法と技術	自	2	3	半期(後)	1	黒沢 学	講義	中学・高校免許必修科目	342
		工業科教育法	自	4	3	通年	1	梅田 政勝	講義	工業免許状必修科目	344
		教育学科教育法	自	4	2	通年	1	駒野 誠	講義	数学免許状必修科目	345
		情報科教育法	自	4	3	通年	1	黒沢 学	講義	情報免許状必修科目(夏期集中+後期授業)	346
		数学科指導法	自	4	3	通年	1	大和 澄夫	講義	中学校数学免許状必修科目	348
		道徳教育論	自	2	3	半期(前)	1	広石 英記	講義	中学校免許必修科目・集中講義	350
		教育相談	自	2	2	半期(前)	1	金築智美、今野紀子	講義	中学・高校免許必修科目・集中講義	351
	第四欄下	生徒・進路指導論	自	2	2	半期(後)	1	新井 誠	講義	中学・高校免許必修科目	352
		教育実習セミナー	自	2	4	通年	0.5	広石、大江、黒沢	講義	中学・高校免許必修科目	361
	第五欄	教育実習Ⅰ	自	2	4	通年	1	広石、大江、黒沢	実験・実習	中学・高校免許必修科目	362
		教育実習Ⅱ	自	2	4	通年	1	広石、大江、黒沢	実験・実習	中学校免許必修科目	363
	第六欄	教職実践演習(中・高)	自	2	4	半期(後)	1	広石、大江、黒沢	講義	中学・高校免許必修科目・集中講義	370
	教科又は教職に関する科目	介護福祉論	選	2	2	半期(前/後)	1	加藤 英池子	講義	中学校免許必修科目	
		介護等体験特論	自	2	3	通年	0.5	広石 英記	講義	中学校免許必修科目	
教科に関する科目	職業指導	自	4	3	通年	1	有田 禮二	講義	工業免許状必修科目	160工業	
	情報と職業	選	2	234	半期(前/後)	1	有田 禮二	講義	情報免許状必修科目	135情⑥	
	情報化社会とコミュニケーション	選	2	234	半期(前/後)	1	本郷 均	講義	情報免許状科目	130情①	
	情報化社会と知的財産権	選	2	234	半期(前/後)	1	須田 浩史	講義	情報免許状必修科目	130情①	
	情報倫理	選	2	234	半期(前/後)	1	會田 和弘	講義	情報免許状必修科目	130情①	

付記:

- 1.「介護福祉論」「介護等体験特論」および介護等体験は中学校免許状修得時には必修である。
- 2.上記科目を履修するには、教職課程履修手続きが必要である。

新入生へ
 学生生活
 学修案内
 共通
 FA
 FI
 FR
 履修案内
 UNIPA
 資格・免許
 教職課程
 事務取扱い
 学籍・学費
 生活案内
 各種施設
 就職・進学
 学則・規程
 沿革
 校歌・学生歌
 警研組織
 キンパ委内